

はじめに

1 まずはかゆみを知ろう!  
目次へ戻る

2 かゆみを探点しよう!  
目次へ戻る

3 かゆみをやっつけよう!  
目次へ戻る

このページを印刷する (PDF:153KB)

③ かゆみをやっつけよう

(3) かゆみを軽減させる飲み薬 (抗ヒスタミン薬、抗アレルギー薬は、補助療法として有効)

現在、手に入るかゆみ止めの飲み薬は、抗ヒスタミン薬・抗アレルギー薬と呼ばれるものです。どちらも、かゆみを起こすヒスタミンという体内の物質を主に抑えることでかゆみ止めとして働きます。薬によっては、その他に炎症を抑える力を持つものもあります。また、薬によっては眠気を感じるものもありますが、かゆみ止めの効果も眠気の副作用もかなり個人差があります。主治医と相談しながら、自分に一番合ったかゆみ止めを見つけるようにしましょう。

これらの薬を飲むことによってアトピー性皮膚炎のかゆみのある程度やわらげることができず、完全に止めることはできません。アトピー性皮膚炎のかゆみには、ヒスタミンだけではなく、他のいろいろなものが関与しているからです。かゆみ止めの飲み薬を、ステロイド外用薬やプロトピック軟膏などの外用薬と組み合わせることによって、より強いかゆみの抑制効果を発揮することができます。かゆみ止めの飲み薬は、あくまでも補助療法です。かゆみや炎症が激しい場合には、セレスタミン、プレドニン、リンデロンなどのステロイドの飲み薬を一時的に服用する場合があります。その場合、特に副作用を出さぬよう、主治医の指導通りに服用することが大切です。



抗ヒスタミン薬・抗アレルギー薬の飲み薬

分類	一般名	代表的な製品名	皮膚科領域の適応疾患
化学物質(メディエーター)遊離抑制薬	クロモグリク酸ナトリウム	インタール(細粒:10%)	食物アレルギーに基づくアトピー性皮膚炎
	トラニスト	リザベン(カプセル:100mg、細粒:10%、ドライシロップ:0.5%)	アトピー性皮膚炎
化学伝達物質合成阻害薬	トシル酸スプラタスト	アイピーディ(カプセル:50、100mg、ドライシロップ:5%)	アトピー性皮膚炎
化学伝達物質拮抗薬(第二世代ヒスタミンH1拮抗薬)	フマル酸ケトフェン	サジテン(カプセル:1mg、シロップ:0.02%、ドライシロップ:0.1%)	湿疹、皮膚炎
	塩酸アゼラスチン	アゼプテン(錠:0.5、1mg、顆粒:0.2%)	湿疹、皮膚炎、アトピー性皮膚炎
	オキサトミド	セルテクト(錠:30mg、ドライシロップ:2%)	大人:湿疹・皮膚炎、小児:アトピー性皮膚炎
	メキタジン	ゼスラン、ニボラジン(錠:3mg、小児用細粒:0.6%、シロップ:0.03%)	湿疹、皮膚炎
	塩酸フェキソフェナジン	アレグラ(錠:30、60mg)	湿疹、皮膚炎、アトピー性皮膚炎
	塩酸エピナスチン	アレジオン(錠:10、20mg、ドライシロップ:1%、内服液:0.2%)	湿疹、皮膚炎
	エバステン	エバステル(錠:5、10mg)	湿疹、皮膚炎